

学内システムとして構築する方法

1. はじめに

本メニューでは、SPをカスタマイズします。
DSを使用せずに、直接IdPに認証要求を行う設定です。
例えば、所属機関内のみで使用する学内サービスをシボレスで構築した場合などに行う設定となります。
※学認には登録せずに、所属機関のIdPで常に認証を行います。

2. 実習セミナーでは

以下のような設定で行います。
手順書と照らし合わせながら、作業を進めてください。

・ 認証要求を行うIdP

例) 1番を割り振られた場合
`https://ex-idp-test01.gakunin.nii.ac.jp/idp/shibboleth`

・ SPにIdPメタデータを配置

以下のようなURLにて取得できるようにしています。
wgetコマンドにて取得してください。

例) 1番を割り振られた場合
`# cd /etc/shibboleth`
`# wget https://ex-idp-test01.gakunin.nii.ac.jp/metadata/idp-local-metadata.xml`

・ IdPにSPメタデータを配置

以下のようなURLにて取得できるようにしています。
wgetコマンドにて取得してください。

例) 1番を割り振られた場合
`# cd /opt/shibboleth-idp/metadata`
`# wget https://ex-sp-test01.gakunin.nii.ac.jp/metadata/sp-local-metadata.xml`

3. 手順書

下記の設定手順書を参照し、作業を行います。
※実習時の設定値に置き換える事を忘れないようにしてください。
※学認申請システムに参加していない場合、手順書の「metadata-providers.xmlの設定」部分を飛ばしてください。

- [設定手順書](#)

4. 動作確認

① 設定後、Apacheやshibdの再起動を行ってない場合は行ってください。

```
systemctl restart httpd
systemctl restart shibd
```

② 各自が使用するSPの接続確認用ページにアクセスします。

例) 1番を割り振られた場合 <https://ex-sp-test01.gakunin.nii.ac.jp/>

- ③ ログインボタンをクリックします。
- ④ DSの所属機関の選択画面が表示されずにIdPのログイン画面が表示されることを確認します。
- ⑤ Username/Passwordを入力して認証を行います。
- ⑥ 正しく属性受信の確認ページが表示される事を確認してください。
※各自が使用するIdPで認証を行なっているか、属性受信の確認ページで確認します。
タイトルの下に表示されている「あなたのIdPは、<…>」の箇所です。

